



2014年10月1日

お客様向け資料

BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

2014年9月30日のBNP パリバ・ブラジル株式オープン 基準価額の下落について

2014年9月30日のBNP パリバ・ブラジル株式オープンの基準価額は前日比451円安(5.2%安)の8,246円となりました。この下落は、9月29日のブラジル株式市場の急落と、為替市場における円高レアル安の影響を受けたものです。

2014年9月29日のボベスパ指数は、世界の主要株価指数の中で最大の下げとなり、大半の構成銘柄が下落する全面安の展開となりました。ブラジル石油(ペトロブラス)の11%以上の下げやブラジル銀行の8.5%の下げが指数下落を主導し、ボベスパ指数の終値は前日(9月26日)比で4.5%安の54,625.35ポイントとなりました。

10月5日の大統領選挙を前に、再選を目指すルセフ大統領への支持が拡大していると世論調査で示されたことで、政権交代による構造改革への期待感が薄れ、株式市場の下落へと繋がったと思われます。

選挙については、10月5日の第1回投票で過半数の票を獲得した候補者が出ない場合、26日に決選投票が実施される予定です。現地の報道によりますと、どの候補者も過半数を獲得できない見込みであり、現職のルセフ大統領と野党・社会党候補マリナ・シルバ元環境相による決選投票となることが予想されま
す。その場合の支持率はルセフ候補、シルバ候補ともほぼ拮抗すると見られており、政治・経済の不透明感から、株式市場の混乱およびレアル安が進行する可能性は否めません。

為替市場では、ルセフ大統領の支持率拡大により、政権交代による構造改革期待が後退したことからレアルが対円、対米ドルで売られ、対円で45円台から44円台へと下落、対ドルでも、一時2.4781レアルと2008年12月以来の安値となりました。

本資料は、BNP パリバ アセットマネジメント ブラジルが作成した資料をもとに、BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社が、ブラジル市場に関する当社の見解および「BNP パリバ・ブラジル株式オープン」に関する情報を提供することを目的として、上記の時点に作成したものであり、法律に基づいた開示資料ではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本資料中の過去の実績に関する数値、表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を保証するものではありません。



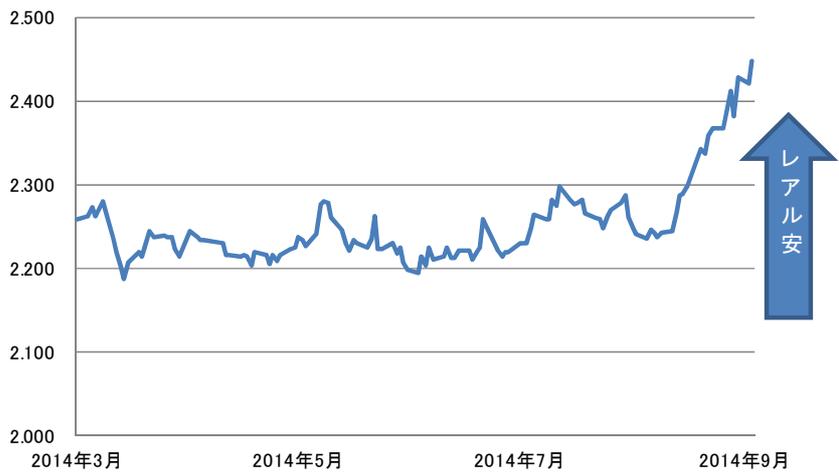
〈ブラジルボベスパ指数の推移(2014年3月28日～9月29日)〉



(円) 〈為替(レアル・円)の推移(2014年3月28日～9月29日)〉



(レアル) 〈為替(ドル・レアル)の推移(2014年3月28日～9月29日)〉



(出所 : Bloomberg のデータより当社作成)



BNP パリバ・ブラジル株式オープンの主なリスクと費用は、次の通りです。

リスクについて

当ファンドは、主にマザーファンドへの投資を通じて、外国の株式など値動きのある有価証券に投資しますので、組入れた有価証券の値動きや為替相場の変動などの影響により、基準価額は変動します。したがって、当ファンドは金融機関の預金と異なり元本が保証されているものではありません。また、当ファンドは、預金保険機構または保険契約者機構の保護の対象ではなく、信託財産に生じた利益及び損失は、全て受益者に帰属することとなります。

■ 価格変動リスク

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて主にブラジルの株式など値動きのある有価証券に投資します。株式の価格は政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給関係等を反映して変動します。組入株式の価格が下落した場合、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

■ 信用リスク

株式の価格は、発行企業の信用状況によっても変動する場合があります。経営不安や倒産等の重大な危機に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることがあります。その結果、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

■ 為替変動リスク

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて外貨建資産に投資しますので為替変動リスクを伴います。原則として為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接的に受け、円高局面では当ファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 流動性リスク

市場規模や取引量が少ない場合など、機動的に組入銘柄を売却できないことがあります。その結果、売却価格が大きく低下し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

■ カントリーリスク

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて海外の有価証券に投資しますが、その国の政治・経済および社会情勢等の変化により、金融・証券市場が混乱した場合に、当ファンドの基準価額に大きな変動をもたらす可能性があります。

■ 追加設定・一部解約による資金流出入に伴うリスク

当ファンドの追加設定および一部解約による資金の流出入に伴い、基準価額が影響を受ける可能性があります。大量の追加設定もしくは一部解約が行われた場合、株式の売買手数料や市況もしくは取引量の影響等による市場実勢から乖離した価格での株式の組入れおよび売却を行う必要が生じると、当ファンドの基準価額はその影響を受けます。

■ ファミリーファンド方式にかかる留意点

当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。当ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドに追加設定・一部解約による資金流入が生じ、その結果、当該マザーファンドにおいて売買等が生じた場合は、当ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。

■ 権利行使の制限

当ファンドは、お申込日がサンパウロ証券取引所の休業日と同一日の場合には、原則として売買のお申込みはできません。また、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、売買の受付が取り消しまたは中止されることがあります。



費用について【ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。】

■ 申込時に直接ご負担いただく費用

申込手数料 お申込日の翌営業日の基準価額に対して上限3.78%(税込)以内で販売会社が定める率

■ 保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬 信託財産の純資産総額に対して年率1.836%(税込)

その他の費用 ファンドの組入有価証券売買手数料、外国における資産の保管料(カストディーフィー)、信託財産にかかる監査費用等

※ その他の費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限等を示すことができません。

※ 当該手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することが出来ません。

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

販売会社	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問 業協会	一般社団法人 金融先物取引 業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第50号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第134号	○			
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第6号	○		○	
西日本シティIT証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第75号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○		○	
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号	○		○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	○			

■ 設定・運用は

商号 BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第378号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

取得の申込みにあたっては、交付目論見書をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。